



仮想サービスと テンプレート 機能説明

バージョン : 5.0

更新 : 2016 年 1 月

著作権

Copyright © 2002-2016 KEMP Technologies, Inc.. 著作権は KEMP Technologies Inc.が所有しています。KEMP Technologies および KEMP Technologies のロゴは、KEMP Technologies Inc.の登録商標です。

KEMP Technologies Inc.は、ソフトウェアおよびドキュメントを含むロードマスター製品ラインのすべての所有権を保有します。ロードマスターExchange アプライアンスの使用はライセンス契約に従うものとします。このガイドの情報は、事前の予告なしに変更されることがあります。

Microsoft Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他すべての商標とサービスマークはそれぞれの所有者の財産です。

制限事項:著作権に関する文書およびその内容のすべては、所有者が提示しているまを記載しています。弊社は、ここに提示された情報が正しいことを確認するための努力を払っていますが、この情報の正確性については明示または黙示的に保証するものではありません。弊社は、このドキュメント上のすべての資料の誤りや不正確な情報に対して、可能であれば使用者が法律上または衡平法上の唯一かつ排他的な救済手段として受け入れられる適切な矯正の通知を提示します。この文書に記載されている情報の使用者は、受取人、または第三者によるコンパイル、またはこのドキュメントを提供したり、通信や公開の任意のアクションまたは不作為からの傷害または損害、およびこれらに限定されない現在または将来失われる利益および損失を含むあらゆる直接的、特殊的、付随的または派生的損害（を含むがこれらに限らず、あらゆる種類の損失、のれんの損傷）に対して、弊社が責任を負うことはできないことを認めるものとします。

このガイドで使われるインターネット・プロトコル（IP）アドレス、電話番号または他のデータが、実際に存在する連絡先に似ている場合も、実際のアドレス、電話番号または連絡先であることを目的としません。この文書に含まれる例、コマンド出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は説明のみを目的として提示されています。例示の内容に、実際のアドレスや連絡先情報が使用されている場合は、意図的なものではなく偶然の一致によるものです。

このソフトウェアの一部は、Frank Denis（2004-2006 年）、Michael Shalayeff（2002 年）、Ryan McBride（2003 年）が著作権を保有し、すべての権利を保有しています。

この部分に関して、ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、改変の有無にかかわらず、次の条件が満たされていることにより許可されます。

1. ソースコードの再配布は、上記の著作権表示、および本条件と下記免責条項を保持しなければなりません。
2. バイナリ形式で再配布する場合は、配布時に提供されるドキュメント、および/またはその他の資料に、上記の著作権表示、本条件、以下の免責事項を複製して提示する必要があります。

本ソフトウェアは、上記の著作権保持者によって“現状有姿”で提供され、明示的または暗示的を問わず、商品性や特定の目的への適合性などの保証は一切行いません。いかなる場合においても、上記の著作権保持者、または貢献者は、損害の可能性について報告を受けていたとしても、責任の法理、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失かどうかは関係なく）において、いかなる直接的、間接的、偶発的、特殊的、懲戒的、結果的損害（代替製品やサービスの調達費用、使用不能損失、データまたは利益の損失、または事業の中断による損失など）に関する責めを負わないものとします。

ソフトウェアおよびドキュメントに含まれる見解および結論は著者のものであり、明示的または暗示的を問わず、上記著作権者の公式方針を表すものではありません。

ロードマスターのソフトウェアの一部は、1989、1991 年に、51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA にある Free Software Foundation, Inc.と KEMP Technologies Inc.が著作権



を保有し、GNU ライセンスのバージョン 2（1991 年 6 月）の要件に完全に準拠しています。このライセンス文書を変更せずそのまま複製して頒布することは誰もが許可されていますが、それを変更することは許されません。

このソフトウェアの一部は、マサチューセッツ工科大学のリージェンツが 1988 年に著作権を保有しています。

ソース形式およびバイナリ形式での再配布と使用は、上記の著作権表示および本パラグラフが、それらの全ての形式において複製され、それらの再配布と使用に関するすべての文書、広告素材その他の資料において、本ソフトウェアがカリフォルニア大学バークレー校により開発されたことを認知させる場合に許可します。大学の名前は、書面による事前の許可なしに、本ソフトウェアより派生した製品の保証または販売促進のために使用することはできません。

本ソフトウェアは“現状有姿”で提供され、明示的または黙示的を問わず、商品性や特定の目的への適合性などの保証は一切行いません。

このソフトウェアの一部は、マサチューセッツ工科大学が 1998 年に著作権を保有しています。

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下“ソフトウェア”）の複製を取得するすべての人に対し、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、および/または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。

上記の著作権表示および本許諾表示を、ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載するものとします。

本ソフトウェアは“現状有姿”で提供され、明示的または黙示的を問わず、商品性や特定の目的への適合性、権利非侵害などの保証は一切行いません。作者または著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

このソフトウェアの一部（1995 年に発行、2004 年に修正）は、Jean-loup Gailly および Mark Adler が著作権を所有しています。

本ソフトウェアは“現状有姿”で提供され、明示的または黙示的を問わず、何らの保証もなく提供されます。いかなる場合であっても、本ソフトウェアの使用に起因する損害に関して作者は一切責任を負わないものとします。

以下に定める制限に従う限り、本ソフトウェアを商用アプリケーションを含む任意の目的に使用し、自由に変更、再配布することをすべての人に許可します。

- 1.このソフトウェアの出所について虚偽の表示をしてはなりません。あなたがオリジナルのソフトウェアを書いたと主張してはなりません。本ソフトウェアを製品にて使用する場合、製品の文書に謝辞を入れて頂ければ幸いです、必須ではありません。
- 2.ソースを変更した場合、その旨を明示しなければなりません。そのソースがオリジナルであるという虚偽の表示をしてはなりません。
- 3.いかなる場合であっても、ソースを配布する場合は、これらの通知を削除したり変更したりしてはなりません。

このソフトウェアの一部は、インターネットシステムズコンソーシアム 2003 年に著作権を保有しています。



手数料の有無にかかわらず、本ソフトウェアの使用、複製、変更、および/または任意の目的での配布は、上記の著作権表示とこの許可告知文がすべてのコピーに表示されている限り許可されます。

本ソフトウェアは、"現状有姿"で提供され、作書は、市場への適合性や適切性へのすべての黙示的保証を含め、本ソフトウェアに関して一切の保証をいたしません。作者は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの性能、使用または不使用によって生じるいかなるデータまたは利益の損失、契約、過失、またはその他の不法行為から生じる特別、直接的、間接的は損害、または結果的損害に対して一切の責任を負いません。

本製品は、正当な許可を得て、米国特許 6,473,802、6,374,300、8,392,563、8,103,770、7,831,712、7,606,912、7,346,695、7,287,084 および 6,970,933 を使用しています。



目次

1	はじめに.....	6
1.1	ドキュメントの目的.....	6
1.2	対象読者.....	6
2	シンプルな仮想サービスの作成.....	7
3	仮想サービスのテンプレート.....	10
	参考ドキュメント.....	12
	ドキュメント履歴.....	13



1 はじめに

KEMP テクノロジーは、アプリケーション提供と負荷分散に関して、価格/性能比に優れた製品群をお求めやすい価格でお客様にご提供しています。当社の製品はさまざまな用途に対応できる高性能なアーキテクチャを採用しており、最高の価値をもたらすとともに、インターネットベースのインフラストラクチャに依存するビジネスを最適化して、当社のお客様が顧客、従業員、およびパートナーと連携してビジネスを行えるようになります。

KEMP テクノロジーの製品は、高可用性、高パフォーマンス、柔軟なスケーラビリティ、セキュリティ、および管理のしやすさによって定義された Web およびアプリケーションインフラストラクチャを最適化することができます。また、柔軟で幅広い導入オプションを提供するとともに、Web インフラストラクチャの総所有コスト（TCO）を最小限に抑えます。

1.1 ドキュメントの目的

本ドキュメントでは、仮想サービスを作成する方法について説明します。また、KEMP ロードマスターのテンプレート機能について、その概要を説明します。

1.2 対象読者

本ドキュメントは、KEMP ロードマスターにおける仮想サービスについて知りたい方、または KEMP ロードマスターにて仮想サービスを作成したい方を対象としています。



2 シンプルな仮想サービスの作成

このセクションでは、2つの実サーバーを持つシンプルな仮想サービスの作成手順について、その概要を説明します。

新規に仮想サービスを作成するには、最初に、メインメニューの“Virtual Services”および“Add New”を選択します。

Please Specify the Parameters for the Virtual Service.

Virtual Address	<input type="text"/>
Port	<input type="text" value="80"/>
Service Name (Optional)	<input type="text"/>
Use Template	<input type="text" value="Select a Template"/>
Protocol	<input type="text" value="tcp"/>

図 2-1:仮想サービスのパラメータ

すると、仮想サービスのパラメーターのページが表示されます。このページでは、仮想サービスの仮想 IP (VIP) アドレス、ポート、サービスの名前、プロトコルを入力します。

サービス名には、通常の英数字のほかに、以下の「特殊」文字が使用できます。

.@ - _

ただし、特殊文字の前に 1 つ以上の英数字がなければなりません。

通常、HTTP サービスはポート番号 80 を使用します。プロトコルは TCP または UDP を選択できますが、多くの場合、TCP が使用されます。

“Add This Virtual Service”をクリックし、仮想サービスのプロパティの画面を開きます。

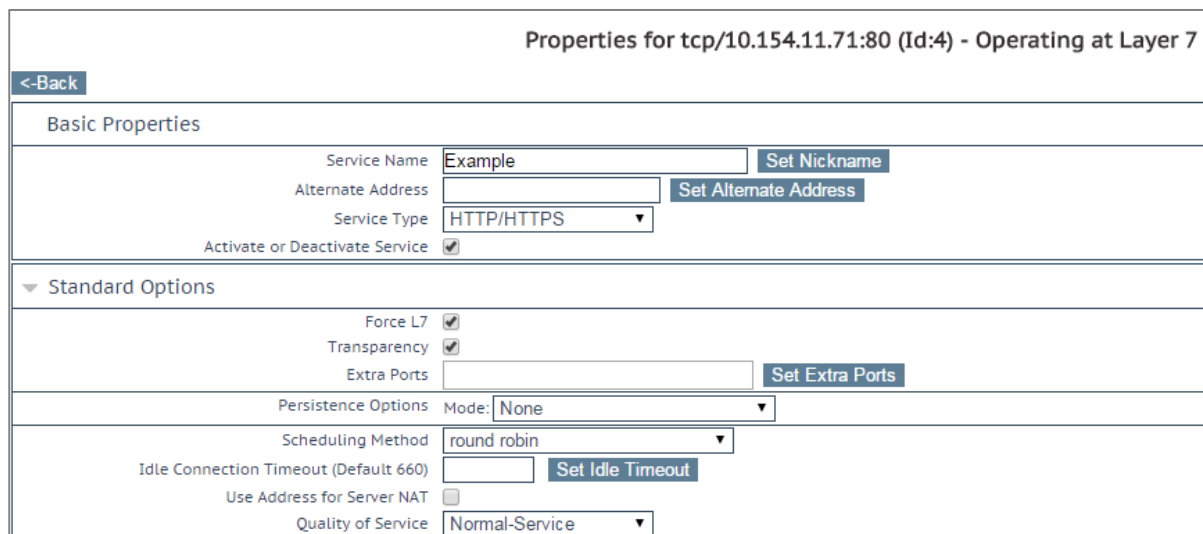


図 2-2:仮想サービスのプロパティ

本ドキュメントでは、ここにあるほとんどのパラメーターは取り上げません。ここでは、デフォルトの設定、すなわち、パーシステンスなし、コンテンツスイッチなし、スケジューリング方式としてラウンドロビンを使用して、仮想サービスを作成します。

最後に、実サーバーまたはサブ仮想サービス（サブ VS）を追加します。本ドキュメントでは、実サーバーの作成について説明します。サブ VS の詳細については、**サブ VS 機能説明**のドキュメントを参照してください。実サーバーのパラメーターのページを表示するには、“**Real Servers**”セクションを展開して“**Add New...**”をクリックします。ここでは、追加する実サーバーの IP アドレス、ポート、転送方式、相対重みを指定します。

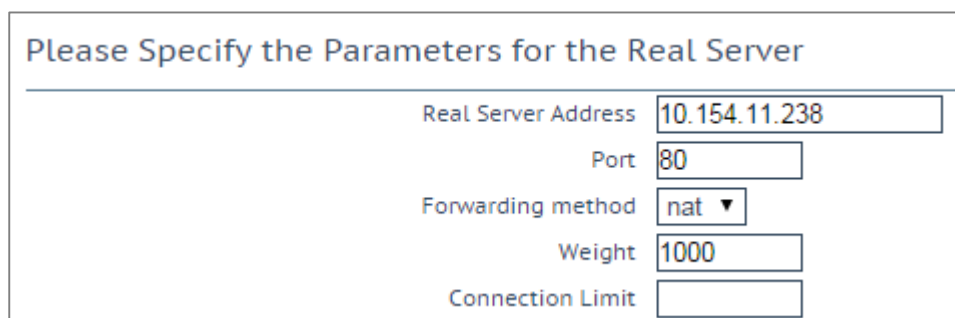


図 2-3:実サーバーのパラメータ

“**Real Server IP address**”に値を入力し、“**Add This Real Server**”をクリックして入力を確定します。メッセージが表示されたら“**OK**”をクリックします。

すると、“**Add a Real Server**”画面が再度表示されます。実サーバーをさらに追加するには、上記の手順を繰り返し、別の実サーバーの IP アドレスを入力します。

全ての変更は直ちに反映されます。作成した仮想サービスの概要を見るには、メイン画面の左側の“Virtual Services”セクションにある“View/Modify Services”のリンクを選択します。すると、先ほど作成した実サーバーのリストが仮想サービステーブルに表示されます。

3 仮想サービスのテンプレート

仮想サービスを繰り返し追加しなければならない場合がありますが、複数のロードマスターで仮想サービスを追加すると、ミスをしやすくなります。KEMP では、一貫性のある仮想サービスを容易に作成するための、汎用のテンプレートを用意しました。

テンプレートを使用して仮想サービスを設定する場合、2つのステップで行います。最初に、テンプレートをロードマスターにインポートします。テンプレートをインポートすると、そのテンプレートを使用して新規仮想サービスを追加できます。

テンプレートは、“**Manage Templates**”画面にてロードマスターにインポート/インストールできます。この画面の詳細については、**ウェブユーザーインターフェイス (WUI) 設定ガイド**を参照してください。

Please Specify the Parameters for the Virtual Service.

Virtual Address	<input type="text" value="10.154.11.237"/>
Port	<input type="text" value="443"/>
Service Name (Optional)	<input type="text" value="Lync Director 2013 DNS"/>
Use Template	<input type="text" value="Lync Director 2013 DNS"/>
Protocol	<input type="text" value="tcp"/>

図 3-1:仮想サービスのパラメータ

新規仮想サービスを追加する際に、“**Use Template**”プルダウンリストからテンプレートを選択できます。テンプレートを選択すると、仮想サービスのポートやプロトコルが設定されます。“**Add this Virtual Service**”ボタンをクリックすると、仮想サービスが作成され、仮想サービスに関するその他の各種属性が、テンプレートにより自動的に設定されます。仮想サービスを読み込むと、手動で作成した場合と同じ方法で仮想サービスを変更できます。

同じテンプレートを使用して仮想サービスを作成する場合は、必ず **"Service Name"**を一意の名前に変更してください。

テンプレートで作成した、ESP が有効になっている仮想サービスの監視に SNMP を使用する場合、マスターサービスに頼るのではなく、各サブ VS を直接監視するようにしてください。これは、認証プロキシのサブサービスは常に稼働中であるとしてマークされるため、

その結果、そのマスターサービスも同様に稼働中であるとしてマークされることによるものです。

現在、テンプレートは KEMP の技術スタッフが作成しています。利用可能なテンプレートについては、KEMP のフォーラム (<http://forums.kemptechnologies.com>) を参照してください。

リリースされたテンプレートは、KEMP のドキュメンテーションのページ (<http://www.kemptechnologies.com/documentation>) からダウンロードできます。

参考ドキュメント

特に明記されていない限り、以下のドキュメントは
<http://kemptechnologies.com/documentation>から入手できます。

サブ vs 機能説明

ウェブユーザーインターフェイス (WUI) 設定ガイド

ドキュメント履歴

日付	変更	変更理由	バージョン	回答者
2014年9月	小規模な変更	誤記訂正	1.7	LB
2014年10月	小規模な変更	誤記訂正	1.8	LB
2015年6月	リリース更新	7.1-28のリリースにともなう更新	1.9	LB
2015年9月	リリース更新	7.1-30のリリースにともなう更新	3.0	KG
2015年10月	リリース更新	スクリーンショット更新	4.0	LB
2016年1月	小規模な変更	「著作権表示」の更新	5.0	LB